

授業科目 社会福祉学特論Ⅲ (高齢者福祉特論、地域包括ケア特論)	科目概要・形式 4単位 60時間	配当年次 1年 後期
科目責任者	細川 満子	
担当者	細川 満子、児玉 寛子、工藤 英明	
1. 科目のねらい・目標 高齢者福祉に関心のある受講生を対象に、個人・家族・社会の視点から高齢社会の現状と課題について明らかにする。また高齢者福祉に関連する理論、概念を理解し、社会福祉施策や社会福祉実践に適用できる方法を探求する。 地域包括ケアの概念について理解し、高齢者・家族への介入方法を習得する。また地域包括ケアを支える医療と介護の連携について理解するとともに、地域社会資源のネットワークを構築するための方法について学ぶ。		
2. 授業計画・内容 1) 高齢者の健康と生活 2) 高齢者と家族、介護 3) 高齢者の住環境と地域生活 4) 高齢者の就業と経済状況 5) 高齢者の虐待と権利擁護 6) 高齢者の終末期ケア 7) 高齢者保健福祉制度の歴史的展開 8) 高齢者福祉サービス 9) 高齢者ケアマネジメント 10) 地域連携の理論・概念 11) 地域包括ケアを支える医療・介護の連携 12) 地域包括ケアシステム構築とネットワーク 13) 今後の高齢者福祉についての展望		
3. 教科書、参考書 講義の中で紹介する。		
4. 成績評価方法 課題レポート、参加態度で評価する。		
5. 受講要件 なし		
6. 社会人学生に対する配慮 夜間開講を基本とするが、受講生と相談の上、履修時間を調整する。 WEBラーニング対応可能。		
7. その他		